

『詳説日本史 改訂版』（日探081-901） おもな改訂箇所

改訂版の頁	日探705	日探081-901（改訂版）	備考
第 I 部 原始・古代			
6	およそ250万年前に猿人から原人が分岐し、およそ35万年前にネアンデルタール人に代表される旧人が生まれ、30万～25万年前にアフリカ大陸で新人(ホモ=サピエンス)が現れて、世界各地に広まった。	およそ250万年前に猿人から原人が分岐し、およそ60万年前に旧人②が生まれ、30万～20万年前にアフリカ大陸で新人(ホモ=サピエンス)が現れて、世界各地に広まった。 ②ヨーロッパに分布したネアンデルタール人がその代表である。	世界史探究と共通した年代に統一
8～9	小見出し「縄文文化の成立」を全体的に変更		縄文文化の成立を、土器の使用の観点から記述
9～10	とくに気候の温暖化にともなって植物性食料の重要性が高まり、…。また、クリ林の管理・増殖、さらにダイズなどマメ類・エゴマ・ヒエ類などの栽培もおこなわれた可能性がある。	とくに早期以降の気候の温暖化にともなって植物性食料の重要性が高まり、…。また、クリ林の管理・増殖を積極的におこない、さらにダイズなどマメ類・アサ・エゴマ・ヒエ類・ウルシなどの栽培もおこなった可能性がある。	より正確な記述に
11	【注③を追加】 ③気候の温暖化にともなう植物の利用範囲の拡大は食料ばかりではない。ウルシは早期から管理栽培された可能性があり、漆塗りの装身具などの工芸品がつくられた。早期の佐賀県東名遺跡からは、ムクロジなどの木の皮を細く裂いた素材で編んだ編みカゴが大量に出土した。クリの木は建物や工芸品など、生活の様々な場面で利用された。		縄文時代の植物利用の記述を追加
12	健康な歯を抜く抜歯の風習は、縄文時代の中頃からみられ晩期に盛んになった。	健康な歯を抜く抜歯の風習は、縄文時代前期からみられ晩期に盛んになった。	より正確な記述に
13	縄文文化が終末を迎えた紀元前8世紀頃、朝鮮半島に近い九州北部で水田による米づくりが開始され、紀元前5～前4世紀頃に東日本にも広まった④。…と呼んでいる⑤。…に区分されている。 ④弥生時代早期の土器に付着した炭化物の ¹⁴ C年代測定をおこなった結果、弥生時代の始まりが従来の前5～前4世紀頃よりも数百年さかのぼるとされるが、さかのぼる年代の幅についてはまだ決着をみていない。福岡県板付遺跡や佐賀県菜畑遺跡が弥生時代早期の代表的な遺跡であるが、早期の遺跡は九州に限定されることから、これを縄文時代晩期とみなす意見もある。水田は弥生時代前期に東北地方北部におよんだ。 ⑤縄文文化が日本列島全域におよんだのに対して、弥生文化は北海道や南西諸島にはおよばず、北海道では「続縄文文化」、南西諸島では「貝塚後期文化」と呼ばれる食料採集文化が続いていた。また、北海道では7世紀以降になると、擦文土器をともなう擦文文化が、5世紀以降のオホーツク海沿岸にオホーツク式土器をともなうオホーツク文化が成立するが、これらの文化も漁労・狩猟に基礎をおく文化である。	縄文文化が終末を迎えた紀元前8世紀頃までに、朝鮮半島に近い九州北部で水田による稲作が開始され、紀元前5～前4世紀頃に東日本にも広まった④。…と呼んでいる。…に区分されている。縄文文化が日本列島全域におよんだのに対して、弥生文化は北海道や南西諸島にはおよばず、北海道では「続縄文文化」、南西諸島では「貝塚後期文化」と呼ばれる食料採集文化が続いていた⑤。 ④考古学における自然科学分析が進んだ結果、弥生時代の始まりが従来の前5～前4世紀頃よりも数百年さかのぼるとされるが、さかのぼる年代の幅についてはまだ決着をみていない。弥生時代早期の土器に付着した炭化物や出土した米粒の ¹⁴ C年代測定の結果をふまえると、前10～前9世紀頃までさかのぼるという見方も強まっている。その一方で、福岡県板付遺跡や佐賀県菜畑遺跡が弥生時代早期の代表的な遺跡であるが、早期の遺跡は九州に限定されることから、これを縄文時代晩期とみなす意見もある。水田は弥生時代前期に東北地方北部におよんだ。 ⑤北海道では7世紀以降になると、擦文土器をともなう擦文文化が、5世紀以降のオホーツク海沿岸にオホーツク式土器をともなうオホーツク文化が成立するが、これらの文化も漁労・狩猟に基礎をおく文化である。	注④の記述を変更 (弥生時代の始まりが「前10～前9世紀」にさかのぼるという見方があることに言及) 注⑤の前半を本文へ移動
14	…イノシシの飼育がおこなわれたことも知られている。	…ブタの飼育もおこなわれたことが知られている。	『山川歴史 PRESS』19号を参照

14	… <u>粃殻から穀粒から取り去る脱穀には木臼と堅杵が用いられ、…</u>	… <u>粃を穂からとり、粃殻を穀粒から取り去る脱穀や精米には木臼と堅杵が用いられ、…</u>	より正確な記述に
16	…銅鐸は近畿地方、 <u>平形銅剣は瀬戸内中部、銅矛・銅戈は九州北部を中心に分布しており、…</u>	…銅鐸は近畿地方を <u>中心とした西日本、平形銅剣は瀬戸内中部、銅矛・銅戈は九州北部に多く分布しており、…</u>	より正確な記述に
24～ 25	25頁の注③の一部を24頁の注②に移動		より適切な位置に移動
25、28	25頁にあった横穴式石室の注や写真を28頁に移動 ※これにともなって、28～29頁の写真レイアウトを変更		小見出し「前期・中期の古墳」に含まれていた「後期の古墳」の記述を移動
32	… <u>列島各地に直轄領として屯倉や、…</u>	… <u>政治・経済拠点として列島各地に直轄領の屯倉や、…</u>	屯倉の説明をより丁寧に
34	【注②を追加】 ②『隋書』が伝える倭の国書に、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す」とあり、倭の大王を中国の皇帝になぞらえる表現がみえ、のちの天皇号につながるとみる説もある(→p.38注②)。		38頁注②と対応
38	【注①を追加】 ①いったん位を退いた天皇が再び即位することを重祚という。		より丁寧な説明を追加
39	【注③を追加】 ③大宝の遣唐使の責任者の粟田真人は、唐(当時の国号は周)の皇帝則天武后に新国号を認めてもらい、新たな関係を築いた。		日本の国号に関する注を追加
39	…公卿による合議によって進められ、…	…公卿(<u>のちに中納言・参議が加わる</u>)による合議によって進められ、…	より丁寧な説明を追加
41	⑤防人には東国の兵士が当てられ、3年間大宰府に属した。その編成方式には <u>前の時代の国造軍のあり方が残っていた。</u>	⑤防人には東国の兵士が当てられ、3年間大宰府に属した。その編成方式には <u>国造が率いた国造軍のあり方が残っており、兵士の徴発に郡司(かつての国造)が大きく関わっていた。</u>	より丁寧な説明を追加
43	③奈良時代初めの和同開珎…	③8世紀初めの和同開珎…	より正確な記述に
44	【注②を追加】 ②租は郡家の正倉に大税として保管され、公出挙などにも使用された。		49頁の正税との関係を追加
45	…やがて大伴氏や <u>佐伯氏</u> などの旧来の有力諸氏の勢力をおさえて…	…やがて大伴氏や <u>物部氏(石上氏)</u> などの旧来の有力諸氏の勢力をおさえて…	より適切な「旧来の有力諸氏」の例に変更
47	… <u>宇佐神宮の神託によって道鏡に皇位をゆずろうとする事件…</u> 表 769. 9 <u>宇佐八幡神託事件</u>	… <u>宇佐八幡宮の神託によって道鏡に皇位をゆずろうとする事件…</u> 表 769. 9 <u>宇佐八幡宮神託事件</u>	表記を統一
48	…一方で貴族・寺院や地方豪族らの私有地拡大を進めることになった②。 <u>とくに東大寺などの大寺院は、北陸などの広大な原野を独占し、国司や郡司の協力のもとに付近の一般農民や浮浪人らを使用して灌漑施設をつくり、大規模な原野の開墾をおこなった。これを初期荘園③という。</u>	…一方で貴族・寺院や地方豪族らの私有地拡大を進めることになった②。 <u>これを初期荘園という。</u> とくに東大寺などの大寺院は、北陸などの広大な原野を独占し、国司や郡司の協力のもとに付近の一般農民や浮浪人らを使用して灌漑施設をつくり、大規模な原野の開墾をおこなった③。	より適切な位置に移動
49	…また各郡の正倉に <u>蓄えられた稲穀が</u> 、正税として国司により一元的に管理・運用されるようになる。…	…また各郡の正倉に <u>大税として蓄えられた稲穀が</u> 、正税として国司により一元的に管理・運用されるようになる。…	44頁注②との関係を追加
51	…防人歌などもある。 <u>心情を率直に表しており、心に強く訴える歌が多くみられる⑥。</u>	…防人歌などもおさめられる⑥。 <u>漢字1字で1音を表す表記法が多く用いられ、万葉仮名と呼ばれる。</u>	65頁のかな文字との関係から万葉仮名の説明を追加

58	…官田は諸司田に分割されて各官庁の <u>独自の財源</u> となり、官人たちもみずからの墾田を増やして国家財政に対する依存を弱めた。 <u>天皇にも公費で開墾された勅旨田、皇族にも天皇から与えられた賜田</u> があり、それぞれ独自の財源とされた。また、天皇と近い関係にあり、院宮王臣家と呼ばれた少数の皇族や貴族は、私的に多くの土地を集積し、 <u>国家財政を圧迫しつつ勢力をふるうようになった。</u>	…官田は諸司田に分割されて各官庁の <u>独立的な財源</u> となり、官人たちもみずからの墾田を増やして国家財政に対する依存を弱めていった。公費で開墾された <u>天皇の勅旨田、天皇から皇族に与えられた賜田も多くあり、それぞれ独自の財源として経営された</u> ①。また、天皇と近い関係にあり、院宮王臣家と呼ばれた少数の皇族や貴族は、私的に多くの土地を集積して <u>荘園とし、勢力をふるうようになった。</u> ①勅旨田・賜田といった天皇や皇族の所領は、嵯峨・淳和・仁明天皇の時代にはあわせて数千町が設定され、国司の協力を得て経営された。	71頁の小見出し「受領と荘園」との接続を考慮して記述を追加・修正
59	教養として漢詩文をつくることが重視されたため、 <u>漢文学が盛んになり、漢字文化に習熟した貴族たちは、漢文をみずからのものとして使いこなすようになった。</u> このことは、 <u>のちの国風文化の前提</u> となった。…	教養として漢詩文をつくることが重視されたため、 <u>貴族たちは漢字文化に習熟し、漢文をみずからのものとして使いこなすようになった。</u> このことは、 <u>のちに大陸文化をふまえて国風文化が生まれてくる前提</u> となった。…	より正確な記述に
60	天台・真言両宗が盛んになると、神秘的な密教芸術が新たに発展した。建築では、それまでの形式にとらわれない伽藍配置で、山間の地に寺院の堂塔がつくられるようになった。 <u>室生寺の金堂などが、その代表例である。</u> 彫刻では、密教と関わりのある <u>如意輪観音や不動明王などの仏像が多くつくられた。</u> これらの仏像は、…	9世紀には、 <u>天台・真言両宗が盛んになって、神秘的な密教芸術が新たに発展するなど、奈良時代とは異なる特色の文化が生まれた。</u> 建築では、それまでの形式にとらわれない伽藍配置で、山間の地に寺院の堂塔がつくられるようになり、 <u>室生寺の金堂などに当時の姿が伝えられる。</u> 彫刻では、密教と関わりのある <u>仏像が多く制作され、不動明王像のほか如意輪観音像などがつくられた。</u> この時代の仏像は、…	より正確な記述に (室生寺は当初、密教系寺院ではなかったため、誤解を生まない記述に変更)
69～72	荘園に関連する記述を全面的に変更		詳細は教科書パンフレットを参照
第Ⅱ部 中世			
76～80	荘園に関連する記述を全面的に変更		詳細は教科書パンフレットを参照
83	11世紀後半以降、日本と高麗・宋とのあいだで商船の往来が活発となり、12世紀に宋が北方の女真人の建てた金に圧迫されて南宋となってからは、 <u>さかんに貿易がおこなわれた。</u> これに応じて清盛は、 <u>摂津の大輪田泊(神戸市)を修築して、瀬戸内海航路の安全をはかり、宋商人の畿内への招来にもつとめて貿易を推進した。</u> この清盛の積極的な対外政策の結果、 <u>宋船のもたらした多くの珍宝や宋銭・書籍は、以後の日本の文化や経済に大きな影響を与え、貿易の利潤は平氏政権の重要な経済的基盤となった。</u>	11世紀後半以降、日本と宋とのあいだで商船の往来が活発となり、12世紀に宋が北方の女真人の建てた金に圧迫されて南宋となって以後も、 <u>博多を中心にさかんに貿易(日宋貿易)がおこなわれていた。</u> 平氏は忠盛の頃から貿易に乗り出していたが、さらに清盛は大宰府をおさえ、 <u>瀬戸内海航路を整備し、摂津の大輪田泊(神戸市)を修築して、大船の入港を可能にした。</u> 宋船のもたらした多くの珍宝や宋銭・書籍は、以後の日本の文化や経済に大きな影響を与えた。	日宋貿易が平氏政権の経済基盤となったかについては諸説あるため
94	①…有力御家人からなる13名の <u>合議制</u> によって…	①…有力御家人からなる13名の <u>補佐</u> によって…	「合議制」の実態が不明なため
94	… <u>公暁</u> …	… <u>公暁</u> … (こうぎょう)	ルビを追加
97	この頃までの武士は <u>開発領主の系譜</u> を引き、先祖以来の地に住み着いて、所領を拡大してきた。	この頃までの武士は <u>先祖以来の地</u> に住み着いて、所領を拡大してきた。	荘園記述の変更に伴い変更

97～98	…「弓馬の道」などと呼ばれる <u>道徳</u> は、武勇を重んじ、主人に対する献身や、一門・一家の名誉を尊ぶ精神、恥を知る態度などを特徴として <u>おり、後世の武士道の起源となった。</u>	…「弓馬の道」などと呼ばれる <u>考え</u> 方は、武勇を重んじ、主人に対する献身や、一門・一家の名誉を尊ぶ精神、恥を知る態度などを特徴として <u>いた。</u>	「武士道」は時代によって定義が異なるため、記述を変更
99	チンギス= <u>ハン</u> フビライ(<u>クビライ</u> 、忽必烈)	チンギス= <u>カン</u> <u>クビライ</u> (忽必烈)	世界史探究と共通した表記に統一
100	❶異国警固番役は文永の役の前から始まり、九州地方の御家人に課せられた。文永の役後には大幅に整備され、防塁の構築は御家人だけではなく、九州地方の所領所有者らにも割り当てられた。	❶異国警固番役は文永の役の前から始まり、九州地方の御家人に課された。文永の役後には大幅に整備され、防塁の構築や警備は御家人だけではなく、 <u>地頭や御家人がおかれていない九州の荘園や公領にも割り当てられた。</u>	より正確な記述に
100	再度にわたる襲来 <u>の失敗は、元に征服された高麗や旧南宋の人々の抵抗によるところもあったが、幕府の統制のもとに、おもに九州地方の武士がよく戦ったことが大きな理由であった。</u>	再度にわたる襲来が失敗した原因として、 <u>幕府の統制のもとで、おもに九州地方の武士がよく戦ったこととともに、元に征服された高麗や旧南宋の人々が元の支配に抵抗しつづけたことがあげられる。</u>	より正確な記述に
104	仏教では、それまでの祈禱や学問中心のものから、 <u>内面的な深まりをもちつつ、庶民など広い階層を対象とする新しい教えへの変化が始まった。</u>	天台・真言宗を中心とする南都・北嶺の寺院は、 <u>国家・社会の安定を祈り、加持祈禱により現世利益にもこたえるなど、鎌倉時代も朝廷・幕府から厚い帰依を受けていた。しかし、院政期以来あいつぐ戦乱と飢饉により、人々は末法の世が到来したことを実感し、新しい救いを求めた。この要望にこたえて、内面的な深まりをもちつつ、庶民など広い階層を対象とする教えが生み出されていった。</u>	奈良・平安諸宗の動きを追加
106	こうした鎌倉時代に広まった新仏教に共通する特色は、 <u>天台・真言をはじめ旧仏教の腐敗を批判し、選びとられたただ1つの道(念仏・題目・禪)によってのみ救いにあずかることができる</u> と説き、 <u>広く武士や庶民にも門戸を開いたところにあつて、のちに教団のかたちをとって継承されていった。</u> <u>このような新仏教に刺激されて、旧仏教側も新たな動きをみせた。鎌倉時代の初め頃、法相宗の貞慶や華嚴宗の明恵(高弁)は、戒律を尊重して南都仏教の復興に力を注いだ。…</u> なお、 <u>旧仏教各宗のもとでは古くからの山岳宗教と結びついた修験道が広くおこなわれた。また神仏習合の考えが広まるとともに、鎌倉時代末期になると、鎌倉仏教の影響を受けた独自の神道理論が、伊勢外宮の神官度会家行によって形成され、伊勢神道(度会神道)と呼ばれた。</u>	こうした鎌倉時代に広まった新仏教に共通する特色は、 <u>選びとられたただ1つの道(念仏・題目・禪)によってのみ救いにあずかることができる</u> と説き、 <u>広く武士や庶民にも門戸を開いたところにあつたため、新仏教はしばしば弾圧・迫害されたが、その教えはしだいに広まり、のちに宗派として確立していった。</u> <u>南都・北嶺の寺院においても新たな動きがみられた。鎌倉時代の初め頃、南宋で戒律の教えを学んだ俊苧は泉涌寺を開き、法相宗の貞慶や華嚴宗の明恵(高弁)も戒律を尊重し、僧侶のあり方を正して仏教の活性化がはかられた。…</u> なお、 <u>天台・真言宗のもとでは古くからの山岳宗教と結びついた修験道が広くおこなわれた。また神仏習合の考えが広まり、神と仏が同体であると考えられるようになると、仏教の影響を受けた様々な神道理論が形成された。なかでも度会家行は伊勢外宮の神官という立場から独自の神道説をとらえ、伊勢神道(度会神道)と呼ばれた。</u>	奈良・平安諸宗の動きを追加
113	…とくに半済令は、… <u>やがて年貢だけでなく、土地も分割するようになった。…</u>	…とくに半済令は、… <u>当初は1年限りのものであったが、やがて永続的なものとなり、また年貢だけでなく、土地も分割するようになった。…</u>	より正確な記述に
115	【注⑦を追加】 ⑦幕府や幕府から貿易を許された一部の守護・寺社は、貿易への参加を希望する商人から抽分銭と呼ばれる請負料を徴収した。		抽分銭の記述を追加
115	⑦段銭は田の面積(段)、棟別銭は家屋(棟)に対して課せられた臨時税であり、 <u>本来は朝廷によって課税されていたが、室町幕府がその徴収を代行するようになった。</u>	⑧段銭は田の面積(段)、棟別銭は家屋(棟)に対して課せられた臨時税であり、 <u>朝廷が課していた一国平均役(→p.79)に由来するが、室町幕府がその徴収を代行するようになった。</u>	79頁との接続を考慮して記述を修正
136	…とくに堺は <u>36人の会合衆</u> 、博多は <u>12人の年行司</u> と呼ばれる豪商の合議によって市政が運営され、…	…とくに堺は <u>会合衆</u> 、博多は <u>年行司</u> と呼ばれる豪商の合議によって市政が運営され、…	合議の人数については諸説あるため

第Ⅲ部 近世

142	<p>…その頃に生じた関白の地位をめぐる摂家間の争いに介入して関白について②。<u>摂家以外の者が関白になるのは前代未聞であった。翌年には新しく即位した後陽成天皇から豊臣の姓を与えられ太政大臣にもなった。</u>…</p> <p>②秀吉は、形式的に近衛家(藤原氏)の子になる手続きをとって関白について。</p>	<p>…その頃に生じた関白の地位をめぐる摂家間の争いに介入して関白について②。<u>つづいて天皇から豊臣の姓を与えられ太政大臣にもなった。</u>…</p> <p>②武家出身者が関白になるのは前代未聞であった。</p>	<p>豊臣姓を与えた天皇については諸説あるため</p>
144	<p>…。1588(天正16)年には、百姓から刀・脇差などの武具を取り上げるよう命じる刀狩令を出し、…</p>	<p>…。1587(天正15)年に太閤検地に反対する一揆がおきると、翌1588(天正16)年には、百姓から刀・脇差などの武具を取り上げるよう命じる刀狩令を出し、…</p>	<p>因果関係を追加</p>
149	<p>また、<u>文禄・慶長の役で西日本の諸大名が連行した</u>…</p>	<p><u>文禄・慶長の役で朝鮮からも活字印刷の技術が伝わり⑥、また西日本の諸大名が連行した</u>…</p> <p>⑥それによって後陽成天皇の企画で、木製活字の書物が数種類出された(慶長勅版)。</p>	<p>慶長勅版の記述を追加</p>
159	<p>1637(寛永14)年には、<u>島原の乱</u>がおこった。</p>	<p>1637(寛永14)年には、<u>島原の乱(島原・天草一揆)</u>がおこった。</p>	<p>別称を併記</p>
159	<p>…仏教への改宗を強制するなど、<u>キリスト教に対してきびしい監視を続けていった。</u></p> <p>幕府の禁じたキリスト教や日蓮宗不受不施派を信仰させないために、<u>武士も神職もだれもが檀那寺の檀家になって、寺請証明を受けた。</u>…</p>	<p>…仏教への改宗を強制し、<u>武士も神職もだれもが檀那寺の檀家になって、寺請証明を受け、宗門人別改帳に記載された。</u></p> <p>幕府の禁じたキリスト教や日蓮宗不受不施派を信仰させないために、<u>きびしい監視を続けていった。</u>…</p>	<p>宗門人別改帳の記述を追加</p>
168	<p>…女性は家督から排除された。</p>	<p>…女性は家督から排除された。<u>しかし村々の一般百姓や都市の民衆の家で、女性の労働は家族で担う生産や暮らしを支える基礎であった。</u></p>	<p>女性の労働の記述を追加</p>
175	<p>【注②を追加】</p> <p>②上質な鋼。炉の底にできる塊(鋸)の中心から少量とれる。</p>		<p>より丁寧な説明を追加</p>
177	<p>…参勤交代・<u>手伝普請</u>などの支出から、…</p>	<p>…参勤交代・<u>普請役</u>などの支出から、…</p>	<p>155頁と表記を統一</p>
177	<p>④池田光政は…はかった。</p>	<p>④池田光政は…はかった。<u>また、東寺に伝来した古文書を入れる100箱(合)の桐箱を、綱紀が寄贈し、現在に継承され、「世界の記憶」に登録された(東寺百合文書)。</u></p>	<p>東寺百合文書の記述を追加</p>
178	<p>【注②を追加】</p> <p>②大嘗祭(→p. 72注⑤)を中心とした一連の行事をいう。</p>		<p>より丁寧な説明を追加</p>
192	<p>③相対済し令は、17世紀後半以降、数度出されている。1718(享保3)年に江戸町奉行所が受けつけた訴訟は約3万6000件であり、このうち90%以上が金公事であった。</p>	<p>③相対済し令は、17世紀後半以降、数度出されている。1718(享保3)年に江戸町奉行所が受けつけた訴訟は約3万6000件であり、このうち90%以上が金公事であった。<u>これに忙殺されていた役人を改革に向かわせた。</u></p>	<p>より丁寧な説明を追加</p>
197	<p>【注⑤を追加】</p> <p>⑤本来の書名は『加模西葛杜加国風説考』(カムサスカコクフウセツコウ)である。</p>		<p>より丁寧な説明を追加</p>
204	<p>②旗本たちの以後の生活資金のために、貸金会所を設けて低利貸付をおこなった。</p>	<p>②旗本・御家人に幕府から支給された扶持米(蔵米)を換金する札差と呼ばれた町人から、<u>旗本たちは前借りを重ねていた。棄捐令後、幕府は旗本たちの以後の生活資金のために、貸金会所を設けて札差へ融資をおこない、旗本たちへ低利貸付をおこなった。</u></p>	<p>より丁寧な説明を追加</p>

206	【注①を追加】 ①幕府が上位にあって天皇・朝廷の権威を取り込む状態からかわって、天皇・朝廷の権威に幕府が依存する関係になっていった。		より丁寧な説明を追加
206	…ロシア使節ラクスマンが根室に来航し、日本人漂流民を届けるとともに通商を求めた。 <u>その際、江戸湾入航を要求されたことが契機となって、幕府は江戸湾と蝦夷地の海防の強化を諸藩に命じた。</u>	…ロシア使節ラクスマンが根室に来航し、日本人漂流民を届けるとともに通商を求めた。 <u>ラクスマンは江戸湾入航を求めたが拒否され、長崎入港の許可証を渡された。これが契機となって、幕府は江戸湾と蝦夷地の海防の強化を諸藩に命じた。</u>	207頁の「ラクスマンのもち帰った入港許可証」との接続を考慮して記述を修正
208	…文政年間(1818～30年)になると、品位の劣る貨幣を大量に流通させたことで、…	…文政年間(1818～30年)になると、品位の劣る貨幣(<u>文政金銀</u>)を大量に流通させたことで、…	185頁のグラフに対応
第Ⅳ部 近代・現代			
222	②…樺太(サハリン)は従来通り境界を定めないことなどが約定された。	②…樺太(サハリン)は従来通り境界を定めないことなどが約定された。 <u>その後、樺太は1867(慶応3)年に雑居の地とされた。</u>	より正確な記述に (1867年の樺太島仮規則の内容に言及)
227	【注⑦を追加】 ⑦倒幕のうち、とくに武力を用いた倒幕を、討幕という。		より丁寧な説明を追加
246	…(明治六年の政変)…	…(明治六年の政変、 <u>征韓論政変</u>)…	歴経081-901で用いている別称を併記
252	これにより、 <u>各省の長官は国務大臣として自省の任務に関して天皇に直接責任を負うだけでなく、国政全体に関して総理大臣のもとに閣議の一員として直接に参画するものとなった。</u> …	これにより、 <u>新たに総理大臣において政府の実質的な最高責任者とし、総理大臣のもと、各省の長官は国務大臣として国政に参画した。大臣となったのは、多くは薩長藩閥の実力者であった。</u> …	内閣制度の話と明治憲法の規定の話が混在していたため、内閣制度の説明に絞って記述
253	⑦貴族院は皇族と世襲もしくは互選により選出される華族の議員と天皇が任命する勅任議員からなり、勅任議員は勅選議員と各府県1人の多額納税者議員とから構成された。	⑦貴族院は、 <u>皇族と世襲もしくは互選により選出される華族の議員、国家に功績のあった者や学識ある者より選出される勅選議員、各府県1人の多額納税者議員とから構成された。</u>	同時代には、勅選と勅任が十分に区別されていないため
254	①天皇・皇族に対する犯罪である大逆罪・不敬罪や、内乱罪を厳罰とする規定が設けられた。	①天皇・皇族に対する犯罪である大逆罪・不敬罪や、内乱罪を厳罰とする規定が設けられた。 <u>妻の不倫を罰する姦通罪の規定もあった。</u>	331頁の姦通罪廃止の記述に対応
279	<u>明治初年に発行された太政官札などは、新貨条例で本位貨幣と定めた金貨とは交換できない不換紙幣であった。</u> … 1876(明治9)年、金禄公債証書の発行が決まると、政府は巨額の公債が市場に出て価格が低下することを防ぐため、 <u>公債証書で出資してつくられた国立銀行が不換紙幣を発行することを認めた。</u> …	<u>1871(明治4)年、政府は通貨制度として新貨条例を定め、金本位制の確立を目指したが、政府が発行した太政官札などは金貨とは交換できない不換紙幣であった。</u> … 1876(明治9)年、金禄公債証書の発行が決まると、政府は巨額の公債が市場に出て価格が低下することを防ぐため、 <u>国立銀行条例を改正して、不換紙幣の発行(兌換義務の撤廃)と公債証書で出資して国立銀行を設立することを認めた。</u> …	より丁寧な説明を追加
280	【注②を追加】 ②ただし、銀貨も金貨と同様に国内ではほとんど流通していなかった。		より丁寧な説明を追加
294	…不況と政府の財政難とを一挙に吹き飛ばした。…	…不況と政府の財政難とを一挙に吹き飛ばした(<u>大戦景気</u>)。…	「大戦景気」の説明の箇所に用語を追加 (改訂前は295頁が初出)
295	このよう <u>な大戦景気の底は浅く、空前の好況が成金を生み出す</u> 一方で、物価の高騰で苦しむ多数の民衆が存在した。…	このよう <u>に大戦景気は空前の好況をもたらし、巨額の富を得た成金が生まれた</u> 一方で、物価の高騰に苦しむ多数の民衆が存在した②。… ②とくに米価が上昇し、政府が1918(大正7)年にシベリア出兵を決定すると、米価が急激に高騰して各地で米騒動がおこった(→p. 271)。	より丁寧な説明を追加
302	また、田中内閣の時期には、日本の外交は中国政策をめぐって強硬姿勢に転じた。…	また、田中内閣の時期には、日本の外交は中国政策をめぐって強硬姿勢に転じた(<u>積極外交</u>)。…	積極外交の説明の箇所に用語を追加

313～ 314	1938(昭和13)年4月には <u>国家総動員法</u> が制定され、 <u>政府は議会の承認なしに、戦争遂行に必要な物資や労働力を動員する権限を与えられ、国民生活を全面的な統制下においた。同時に制定された電力管理法は、民間の国策会社を設立し、国家がこれを管理するというもので、政府が私企業への介入を強めるきっかけとなった。</u> 翌1939(昭和14)年には、 <u>国民を軍需工場に動員するため、国家総動員法にもとづく国民徴用令が制定された。</u>	1938(昭和13)年4月に、 <u>政府は国家総動員法を制定した。これにより、議会の承認なしに戦争遂行に必要な物資や労働力を動員する権限が、政府に与えられた。同時に、民間の国策会社を設立し国家がこれを管理することを定めた電力管理法を制定した。</u> 翌1939(昭和14)年には、 <u>国家総動員法にもとづく賃金統制令や国民徴用令を制定し、政府は軍需生産に必要な労働統制を進めた①。</u> ①兵力動員のもとで人手不足になった職場への女性の進出によって、男女間の賃金差は縮まる傾向がみられた。しかし、政府は男女間に賃金差を設けて、賃金統制をはかった。	329頁との接続を考慮して記述を修正
314	…政府は <u>生産奨励のために小作料の制限や生産者米価の優遇などの措置をとり、地主の取り分を小さくさせたが、それでも労働力や生産資材の不足のために、…</u>	…政府は、 <u>小作料の制限により地主の取り分を減らすことや自作農の創設を推進することで、生産奨励をはかった。しかし、労働力や生産資材の不足のために、…</u>	328頁との接続を考慮して記述を修正
328	③1946(昭和21)年に再結成された日本農民組合を中心とする農民運動は、 <u>農地改革を進める力となったが、改革後は衰え、</u> 1947(昭和22)年12月以降、農業経営を支援する農業協同組合(農協)が各地に設立された。	③戦時期に自作農創設の動きがみられた地域もあったことや、1946(昭和21)年に再結成された日本農民組合を中心とする農民運動が広がったことが、 <u>農地改革を進める力となった。しかし改革後は農民運動が衰退し、</u> 1947(昭和22)年12月以降、農業経営を支援する農業協同組合(農協)が各地に設立された。	戦時下(314頁)との接続を考慮して記述を修正
329	…1947(昭和22)年には8時間労働制などを規定した労働基準法が制定され…	…1947(昭和22)年には <u>男女同一賃金の原則や8時間労働制などを規定した労働基準法が制定され…</u>	戦時下(313～314頁)との接続を考慮して記述を修正
330	【注①を追加】 ①他方で、在日朝鮮人・台湾人の参政権は、停止する措置がとられた。		より丁寧な説明を追加
335	⑤国際連合の安全保障理事会は、ソ連代表が欠席する中で開かれ、 <u>朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)を侵略者として武力制裁することを決定した。</u>	⑤国際連合の安全保障理事会は、ソ連代表が欠席する中で開かれ、 <u>朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)を侵略者として武力制裁することを決定した。この時の国連軍は、厳密には国連憲章の規定にしたがって編成された国連軍ではなかった。</u>	より丁寧な説明を追加
335	… <u>中国人民義勇軍</u> …	… <u>中国軍(名目は人民義勇軍)</u> …	より正確な記述に
339	<u>第三勢力の台頭もめざましくなった。…</u>	<u>東西両陣営に属さない第三勢力(第三世界)の台頭もめざましくなった。…</u>	より丁寧な説明を追加
340	②…自衛隊の最高指揮監督権は内閣総理大臣に属し、内閣の一員で文民の <u>防衛大臣</u> が総理大臣の指揮・監督のもとで隊務を統轄することになっている。	②…自衛隊の最高指揮監督権は内閣総理大臣に属し、内閣の一員で文民の <u>防衛庁長官(2007年に防衛省へ移行してからは防衛大臣)</u> が総理大臣の指揮・監督のもとで隊務を統轄することになっている。	より正確な記述に
340	③…1956(昭和31)年の <u>新教育委員会法</u> により、教育委員の選出方法が公選制から地方自治体の首長による任命制に切りかえられた。	③…1956(昭和31)年の「 <u>地方教育行政の組織及び運営に関する法律</u> 」(新教育委員会法)により、教育委員の選出方法が公選制から地方自治体の首長による任命制に切りかえられた。	法律の正式名を明記
347	【注⑤を追加】 ⑤1950年代半ばから、中学校を卒業したばかりの若者が、集団就職列車で故郷から東京や大阪に向かった。集団就職は東京オリンピック(→p. 351)が開催された1964(昭和39)年にピークを迎え、若者たちは「金の卵」ともてはやされた。		より丁寧な説明を追加
351	…1965(昭和40)年に朝永振一郎、1973(昭和48)年に江崎玲於奈がノーベル物理学賞を受賞した。	…1965(昭和40)年に <u>量子電磁力学の発展に寄与した朝永振一郎、1973(昭和48)年に半導体のトンネル効果を発見した江崎玲於奈</u> がノーベル物理学賞を受賞した。	より丁寧な説明を追加
352	②…1987(昭和62)年からは <u>財政上の特別措置に関する法律(地対財特法)</u> が施行された。	②…1987(昭和62)年からは「 <u>地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律</u> 」(地対財特法)が施行された。 2016(平成28)年には、 <u>部落差別のない社会の実現を目指す「部落差別の解消の推進に関する法律</u> 」(部落差別解消推進法)が施行された。	法律の正式名を明記、 より丁寧な説明を追加

353	…ニクソン大統領はドル防衛を目的に、…大幅な為替レートの切上げを要求した(<u>ニクソン=ショック</u>)。	…ニクソン大統領はドル防衛を目的に、…大幅な為替レートの切上げを要求した(<u>ドル=ショック</u>)。	世界史探究と共通した表記に統一
358	…極端な長時間労働が慢性化し、…	…極端な長時間労働や「 <u>サービス残業</u> 」が慢性化し、…	より丁寧な説明を追加
359	…1989年12月、 <u>マルタ島での両国首脳会談の結果、「冷戦の終結」が米ソ共同で宣言された。</u>	…1989年12月、 <u>ゴルバチョフはマルタ島でブッシュ(41代)大統領と米ソ首脳会談をおこない、「冷戦の終結」を宣言した。</u>	より丁寧な説明を追加
360	…2001年の <u>アフガニスタン紛争</u> に対してはテロ対策特別措置法を制定し、海上自衛隊の艦船をインド洋に派遣して給油をおこなった。2003年の <u>イラク戦争</u> に対しては <u>イラク復興支援特別措置法</u> を制定し、人道支援に当たった。	2001年9月11日、 <u>アメリカでイスラーム急進派が同時多発テロ事件をおこした。アメリカは急進派の打倒を目指して、翌月にはアフガニスタンを攻撃した(アフガニスタン紛争)。</u> この紛争に対して、日本はテロ対策特別措置法を制定し、海上自衛隊の艦船をインド洋に派遣して給油をおこなった。2003年、「 <u>テロとの戦い</u> 」を掲げるアメリカがイギリスとともにイラク戦争を開始すると、日本は <u>イラク復興支援特別措置法</u> を制定し、人道支援に当たった。	より丁寧な説明を追加
361	… <u>新ガイドライン関連法</u> (<u>周辺事態安全確保法</u> など)…	… <u>ガイドライン関連法</u> (<u>周辺事態安全確保法</u> など)…	2015年のガイドラインの改定も踏まえ表記を変更
362	…また、アメリカの圧力のもとで規制緩和と市場開放が進められ、…	…また、アメリカの圧力のもとで規制緩和と市場開放が進められた。1997(平成9)年には <u>独占禁止法が改正されて持株会社の設立が解禁され、金融業界の大規模な再編の契機となった。</u> また、2000(平成12)年には <u>零細小売業者を保護してきた大規模小売店舗法(大店法)③が廃止された。</u> … ③店舗面積500㎡以上の大規模小売店舗の出店に際して、出店規模や営業時間・日数などについて調整する法律。周辺の中小小売業者の事業活動の機会を適正に保護し、小売業の正常な発展をはかることを目的としていた。	より丁寧な説明を追加
363	<u>2001(平成13)年4月、小泉純一郎が構造改革を掲げて内閣を組織した。</u>	<u>急病によって退いた小淵首相にかわって首相となった森喜朗が2001(平成13)年4月に退陣すると、小泉純一郎が構造改革を掲げて内閣を組織した。</u>	より丁寧な説明を追加 (森喜朗を追加)
364	…1997(平成9)年に京都で開催された気候変動枠組条約締約国会議で京都議定書が採択され、 <u>先進国の温室効果ガス排出削減目標</u> が定められた。2015(平成27)年の同会議における <u>パリ協定</u> では、…	…1997(平成9)年に京都で開催された気候変動枠組条約締約国会議で京都議定書が採択され、 <u>先進国に温室効果ガスの排出量削減の努力目標①</u> が定められた。 <u>そして、2015(平成27)年の同会議のパリ協定</u> では、… ①2008～12(平成20～24)年の排出量平均を、日本6%、アメリカ7%、EU8%、先進国全体で5.2%削減するという目標を定めた。	より丁寧な説明を追加